

多摩川住宅管理組合協議会への呼びかけ

ホ号棟管理組合では、今後の多摩川住宅および隣接する染地地区の、清新な街づくりを再構築していく方向で、はむね、二号棟、ト号棟に共同歩調を呼びかけました。趣旨としては、多摩川住宅一帯の地区計画再検討を展望して、【街づくり協議会・仮称】を管理組合協議会で組織化しましょうというものです。

なお、この趣旨については《住宅供給公社》および《調布市役所》には、すでに説明済みです。

両者とも、協力して進めていくことには賛同を与えてくれています。

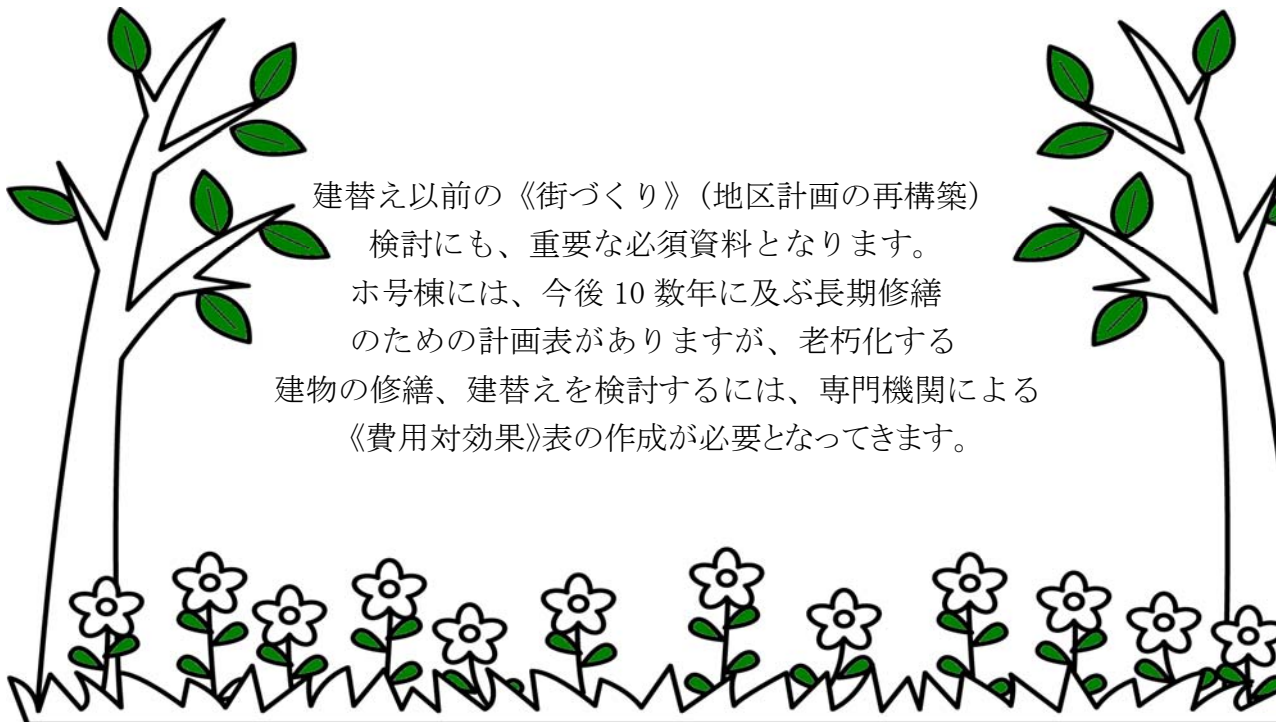
老朽化住宅の修繕・建替えなどに関する

費用対効果とは

街づくり(地区計画)の検討とともに平行して作業をしなければならないことのひとつに、《費用対効果》表の作成があります。

たとえばホ号棟が今後どのように長期修繕計画を実施しなければならないのか、またその経済的負担と再生の見通しはどうか。

その経費と今後の生活に前向きに生かせる効果について、専門的観点から分析をしてもらうものです。



建替え以前の《街づくり》(地区計画の再構築)検討にも、重要な必須資料となります。ホ号棟には、今後10数年に及ぶ長期修繕のための計画表がありますが、老朽化する建物の修繕、建替えを検討するには、専門機関による《費用対効果》表の作成が必要となってきます。